



杉退教・さくら会 たより

杉並区退職教職員の会（さくら会）

杉並支部HP <http://tokyousosuginami.web.fc2.com>

〒167-0031 杉並区本天沼 1-2-19 都教組杉並支部内 Tel 3399-8719 Fax 3399-3855

2022年



北アルプス「槍ヶ岳遠望」常念岳から撮影 椎野 友夫

新年明けましておめでとうございます

杉退教会長 金丸 和彦

昨年の総選挙は、残念ながら改憲勢力を勢いづかせる結果となりました。維新の会は今年夏の参院選で憲法改正の国民投票まで呼びかけ、自公政権を盛んに煽っています。多くの尊い犠牲の上に作られた平和憲法のおかげで戦後76年間、日本は一度も戦争をすることなく平和を維持してきました。こんな国は世界中でたった八つ、アジアでは日本とブータンだけです。焦土の中から立ち上がった私たちの先達も「教え子を再び戦場に送るな」の言葉を胸に戦後の民主教育の歩みを開始しました。その崇高な誓いを私たちは何としても守り抜き、次代に受け渡せるよう頑張る年としましょう。まだまだ終わりの見えないコロナに気を付け、丈夫で長生きして、大いに楽しみましょう。さくら会のみなさん、今年もよろしく願います。

「改憲」の声を凌ぎて聞こえて来る

「あやまちはもう繰り返さない」

人死すも人権の有り故郷に

還れぬままの戦地の遺骨

遊びも踊りも子どもの主食

三村 彩子

杉並ぞうれっしゃ合唱団は2年ぶりに観客を入れて、浜田山会館でコンサートをすることができました。今回のゲストは合唱団の子どもたちへのご褒美の意味も込めて『ただじゅんのただすこだんだん』を公演しました。ただじゅんとの太鼓あそびは会場の全員が参加する総踊りの熱気に包まれて幕を閉じました。

OBとして参加した息子一家の4歳の孫のハートはここで、ただじゅんにしっかりつかまってしまいました。家でも何度も再現して遊んだりプーク人形劇場でのプロデュース公演も見に行ったりしました。昼下がりの公園の広場で私に踊って見せてくれたこともありました。

孫のママは、その頃引っ越しで転園した先の保育園にとっても戸惑い、悩んでいました。それまで経験した保育とはずいぶんかけ離れていたからです。近所に相談する同世代もいない中、徒歩圏内の保育園を見学し始めました。すると家から一番近い保育園に入ったとき、真っ先に目に入ったのはただじゅんの色紙でした。「ああ救われた！」

と思ったそうです。翌月からそこに転園し、孫は太鼓も踊りも再び楽しむことができそうです。

たった一枚の色紙で、保育の質を見抜いたママはすごい！欲を言えばその保育園、ぞうれっしゃも歌って欲しかったかなあ。 【みむら あやこ】

*来年、7月3日に勤労福祉会館でぞうれっしゃファミリーコンサートが開催されます。いよいよ本格的に観客を入れて開催できるかと期待しています。何しろ浜田山会館も観客数は定員の半分でしたので。

1月16日 9:30~《コミュニティフラット東原》で練習が始まります。ぜひご一緒に歌いましょう。



【表紙の写真について】

— 常念岳から「槍ヶ岳遠望」—

去年、掲載した「燕岳」から大天井岳を経て槍ヶ岳へ至る、いわゆる「表銀座縦走路」が画面右、手前から槍の穂に向かってのびています。常念岳や蝶が岳は「槍穂の展望台」ともいわれています。よく見ると、槍の穂のすぐ左に「肩の小屋」が。さらに左へ中岳・南岳・北穂・奥穂へとつづく「槍穂の縦走路」です。

権野さんすばらしい写真、ありがとうございました。

Taka

「アレppoのキヤットマン」

池田茂都枝

書評を依頼されていたアイリーン・レイサム/カリーム・シャムシ・バシヤ著『アレppoのキヤットマン』の絵本が届いた。表紙を見て驚いた。だぶだぶのズボンと赤いジャンパーのひげ面の男性、そして猫たち。下欄にタイトルの「アレppoのキヤットマン」が大きな文字で書かれている。えっ、キヤットマン？猫なんだ・・・。「キヤッチ(・)マン」と思い込んでいた私は慌ててページをめくった。

主人公アラーの読者へのメッセージ、2ページ分の瓦礫の街の様子、最後に猫が登場。そして最後のページまで猫、猫、猫である。全部で何匹になるのだろう。見開きのページの猫は多すぎて何度数えても数字が合わない。この猫たちは、2012年7月、シリア内戦がアレppoに及んで本格的な戦闘になって避難する際に飼い主たちが置いていった猫たちである。アラーは彼らを保護し、その姿がメディアに取り上げられ、こうして絵本にもなった。

絵を担当したイラストレーターの清水裕子は最後のページのメッセージの中で、イラストを現実にすべく、本を完成させるまでの9カ月間をリサーチに費やしたと述べている。そのリサーチこそが、「読書」の行きつく先であると思った。私たちは、『アレppoのキヤットマン』を読んで、世界地図を見る。シリアを探す。アレppoを確認する。「シリア内戦」をネットで調べ



てみる。「内戦」が起きた理由を知る。避難した人々の行き先を調べる。受け入れた国や日本の対応を学ぶ。そして自分は何をすべきかを考える。一冊の絵本はそこで初めて生きた「読書」となり、「知」への先達となる。すなわち「知本」への変容である。

● この絵本の内容紹介とあらすじ

戦争が起きたシリアでは、多くの人々が街を逃れて難民になった。しかし、救急隊員のアラーは、破壊された街、アレppoに残り、取り残された猫の保護活動を始めた。そして、世界に援助を求めると、その声は広くとどき、アラーは「アレppoのキヤットマン」と呼ばれるように…。

この世界的に知られた実話が絵本化された。アメリカ本国でも高い評価を得て、権威ある児童書の賞、2021年のコールデコット・オーナー賞を受賞。

出版社「あかね書房」より

2022年(寅年) 杉退教:年賀状特集



年頭所感

新しい年です。「コロナ禍」三年。私の「人工透析」七年。週三回の通院、週半日のリハビリ、週半日の整体。多忙だが充実感はない。産業革命以降、人間は地球の主人公のように振る舞い、地球の資源を利用してきた。地球環境(大地・海洋・大気)を破壊し、気候変動を拡大してきた。多くの動植物が絶滅し、生息地を強制的に追われた。「コレラ菌」が絶滅し、「コロナ菌」が姿を現した。どこから来たのか? どこに、存在していたのか? 「気候変動」と「コロナ」と「経済」、三つの調整をどうつけるのか! 責任が人間にあるのは間違いない。資本主義諸国はどうする? 社会主義を目指す勢力は何ができる? 今年の対決軸はこれだ!

二〇二二年 一月

長谷川元昭

「年頭所感」長谷川元昭さん



三村 彩子さん

上に掲載した障壁画は、京都東山・南禅寺・本坊小方丈の狩野探幽筆の「群虎図」です。一九五六年、友人たちとこの前で、あぐらをかいて鑑賞したことを思い出しました。た



白馬大池のハクサンコザクラ

Happy New Year 2022

橋本駅から
バスで行ける
城山のタフツの里で
2時間位歩く
滝山神社を
心積りして
いそいそ



今年も
見送り
でやがね。

菅原 春枝

菅原 春枝さん

あけましておめでとうございます！
新しい年のご健康をお祈りします。

とらたは、好奇心いっばい！
熊が降れば、水たまりに浮かぶバケツを見て
ゴットをつくります。体いっばい使って仲間たちと成長するとらたに、
OBGA スタームの子どもたちを考えてしまいます
数週間スアキでしょう！
「とらたとゴット」
(なががりえこ)



2022年1月
バーチャルな世界にとりこまれてる子どもたちと
見ていると、この子たちの未来が心重くなります。
どうぞ、おええで!!

小林久枝

小林 久枝さん

A HAPPY NEW YEAR 2022.1.1



どんな小さなものでも
みつめていると
宇宙につながっている
まど・みちお

椎野 祐子

椎野 祐子さん



今年こそいい年はある可く一世
一代の石渡枝といふとと思ひます
よめいこといふも。

健康 希望 平和

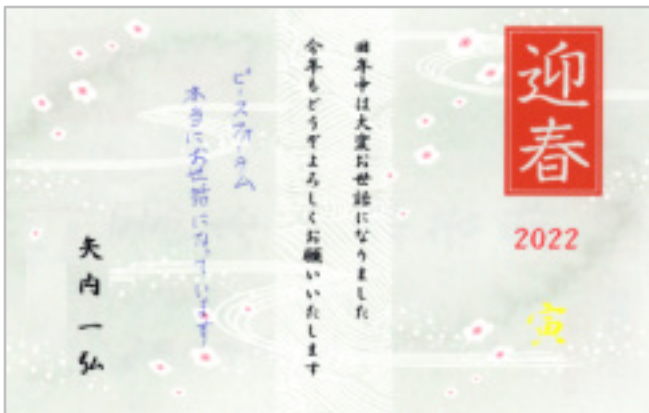
杉山喜代子

杉山喜代子さん

埋め草 川柳 杉坊主...

- もういくつ数えぬうちにお正月
- 百八つコロナ退散一つ足す
- 初夢も代り映えせぬ傘寿越え





矢内 一弘さん



片岡 照美

今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

片岡 照美さん



前山 武雄

前山 長子

謹んで新春のご挨拶を申し上げます

コロナ禍の中で頑張る教職員のお役に立とうと、昨年も組合の書記として精一杯お手伝いをして参りました。(HP「部教組杉並支部FC2」を検索してぜひご覧ください) Zoomの使い方も覚え、活用しています。

しかし結核卒業後、生きづらさは変わらず、政治が良くなる気配が全くありません。それどころか憲法改悪の動きも加速しているようで、心配です。

憲法を変える本当の狙いは、9条に自衛隊を書き込んで戦争できるようにすること。「いつか来た道」—いつの間にか軍事の警備先され、人権と平和な暮らしが壊されるなどはご免です。こんな道は何としても止めなくては、と多くの皆さんと力を合わせたいと思います。

そして女親の健康も、今年も元気に過ごしたいと思ひます。(武雄)



舟の瀬立橋七井橋からの朝日の出 (長子)

- 私の健康・2021年を振り返る
- *年2まで1杯の水を飲む
- *朝のランニング
- *夜の中でやっているよ、毎日同じ時間
- *1日10人の人と話す △~O (10人って意外と難しい)
- *1日1000文字書く△ (ペンでなくパソコンの方がお書きが多い)
- *1日1000歩
- *1日10000歩~8000歩 △ (通勤通学で距離が長い)
- *子どもとともこい発行
- *No.25~No.67 苦しみ楽しんで発行しました
- *探検隊や学校でリス△発表の時間

周りの方々からたくさんのお気遣いを感じました。人とのかつすがり、語り合ひの大切さです。今年も「何にでも楽しんで頑張ること」を目標に参りたいと思ひ、生きて参りたいと思ひます。(長子)

いつもありがとうございます。今年もよろしくお願ひします。

前山 武雄さん

前山 長子さん



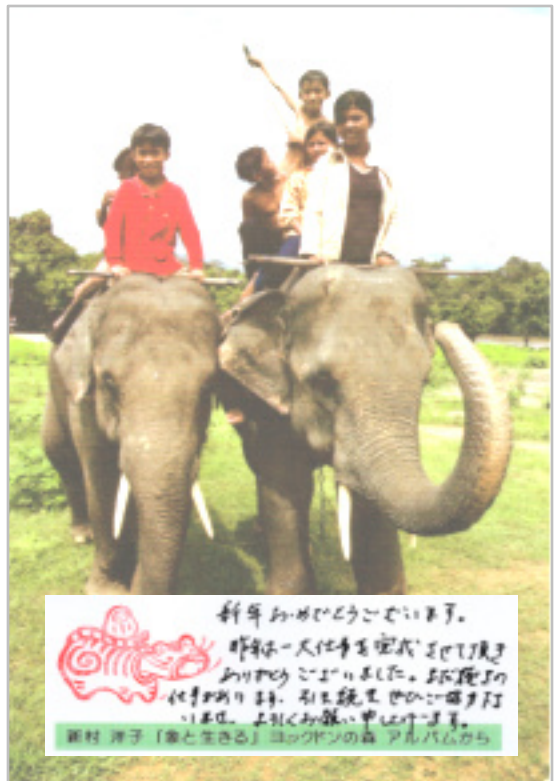
南 幸子

南 幸子さん





金丸 和彦さん



新村 洋子さん



「自由民権運動・五日市憲法ゆかりの地・深沢」あきる野市深沢の溪流です。武蔵五日市駅から三内川にそって北西方角へ3キロほど歩くとこの溪谷があります。深沢家の蔵から五日市憲法の草案が発見されました。 高木たかし



金刺あい子さん

「変えられる」という確信が力に 「八区の会」の活動を通して

小 関 啓 子



首相就任祝儀の高支持率が冷めないうちに、政策論争ぬきで強行された、総選挙の結果を、「自公政権維持、野党共闘不振」と、マスコミは報道。維新の四倍増も含め、改憲勢力が発議可能な議席を安定的に確保した。政権交代をめざしたのだから、きわめて残念な結果だといえる。

ところが、八区の状況は、それとはまったく違った結果を示した。市民と野党の統一候補が、自民の元幹事長を比例復活も許さず圧勝した。投票率は、都内選挙区中で断トツの一位という、無党派層の支持も大きく結集した勝利だった。それは、新潟県や福島県などの野党統一勢力が優勢だったところと共通したものだといえる。「政治を変えよう！」と掲げて活動してきた「八区の会」の呼びかけが、有権者のなかに、直前になっての統一候補の実現で、「変えられる」という確信をつくり出した結果だろう。県内全選挙区で統一候補を実現した新潟や福島などの県民が「政権交代」を、手の届くこととして動いたことと同じだといえないだろうか。

八区でのぎりぎりの段階での統一候補の実現には、杉並での伝統的な市民運動の力の蓄積と広がり、前々回の衆院選以来のねばり強い候補一本化への各党候補者も含めた行動が大きな力に

なった。そして一本化実現後に八区の会につくった市民選対は、候補者の選対と協力体制をしっかりとって、「市民と野党の共同で政治を変えよう」の青いのぼり旗100本と、「女性を国会へ」の横断幕を5枚作り、毎日どこかで街頭宣伝繰り広げ、文字通り、市民と野党が「政治を変えよう！」と、心をつなげた活動を展開。最終日の夕方6時の阿佐ヶ谷駅、北口は共産党区議団と地域の応援団が、南口は吉田候補と市民選対の呼びかけで集まった人々が、50本を超える青いのぼり旗をはためかせて最後の街宣を締めくくった時、私は「勝った！」と思った。

「変えられる」という確信が、人々の心をつかみ、力を生んだのだと思う。それをどう広げ、どう次につなげることが出来るかが、いま問われている。



阿佐谷駅前での
宣伝行動

誰かさんの
川柳も一役
かって

